

スケジュール(案)

新幹線駅周辺のまちづくりに関するスケジュールは、おおむね以下の予定です。嬉野市におきましても積極的に取り組んでまいりますので、地域の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度以降
新幹線整備	新幹線西九州ルート整備										完成
	鹿児島ルート整備 (平成23年春開業予定)										
協議会等	①嬉野市新幹線を活かしたまちづくり協議会 ……市民代表や各種団体を中心とした協議会 ②九州新幹線西九州ルート嬉野温泉駅(仮称)関連整備促進協議会 ……国、佐賀県、嬉野市で構成										
ソフト	ビジョンの設定 方向性の共有	ビジョンに基づく プロジェクトの構築		プロジェクト実現に 向けた準備		プロジェクトの試行、 調整期間					継続的なまちづくりの 推進
ハード(駅周辺)	基本構想	基本計画、整備計画		実施計画、事業着手		事業実施、完了					

①嬉野市新幹線を活かしたまちづくり協議会

目的 九州新幹線西九州ルートの整備に伴い、新幹線を活かしたまちづくりについて研究し、地域振興と産業経済の活性化及び関係住民の利便性の向上を図ることを目的とする。

- 事業**
- (1)新幹線を活かした地域振興策の調査・研究
 - (2)広域連携による新幹線活用策の検討
 - (3)新幹線開業効果拡大に向けた情報発信の検討
 - (4)九州新幹線西九州ルートの整備促進に関すること
 - (5)その他目的達成に必要な事項

構成 協議会：嬉野市商工会、嬉野温泉観光協会・旅館組合、嬉野市婦人連絡協議会など各種団体
部 会：観光・健康・食文化部会、広域連携部会、情報発信部会、まちづくり部会

②九州新幹線西九州ルート嬉野温泉駅(仮称)関連整備促進協議会

目的 嬉野温泉駅及び駅周辺地区における新幹線の建設事業及びこれに関連する道路事業などについて、協議・調整し、円滑な事業推進を図ることを目的とする。

- 事業**
- (1)新駅の基本計画に関する事項
 - (2)駅前広場に関する事項
 - (3)アクセス道路に関する事項
 - (4)駅周辺利便施設に関する事項

構成 顧問：鉄道建設・運輸施設整備支援機構、九州旅客鉄道株式会社
委員：国土交通省、佐賀県、嬉野市

新幹線 嬉野温泉駅周辺のまちづくり

嬉野温泉駅周辺整備基本構想



このパンフレットに関する
お問い合わせ先

嬉野市役所 企画部 新幹線整備課
〒843-0301 佐賀県嬉野市嬉野町大字下宿乙1185番地
TEL. (0954)42-3302 FAX. (0954)42-3300

佐賀県 嬉野市

嬉野温泉駅予定地周辺の概要

※嬉野温泉駅は仮称ですが、本パンフレットにおいては「嬉野温泉駅」と表記します。

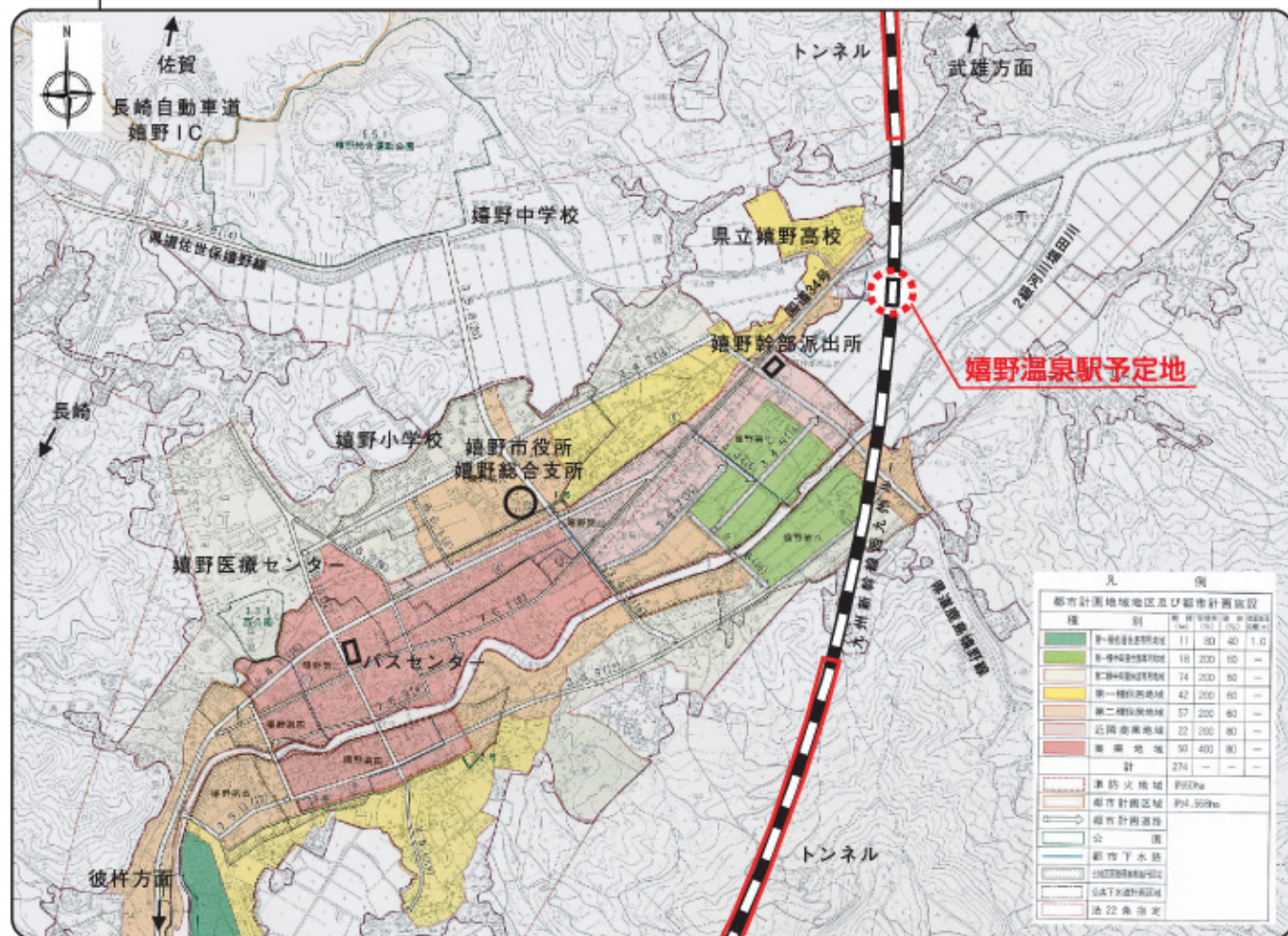
嬉野温泉駅予定地は、嬉野市街地中心部から東へ約1.5kmの嬉野高校の近くの位置に計画されています。周辺の道路をみると、西側に国道34号、南側に県道鹿島嬉野線が通っており、土地利用は、農地が広がっています。



※嬉野温泉駅イメージ(南東方面より望む)

※駅舎は決定したものではありません。

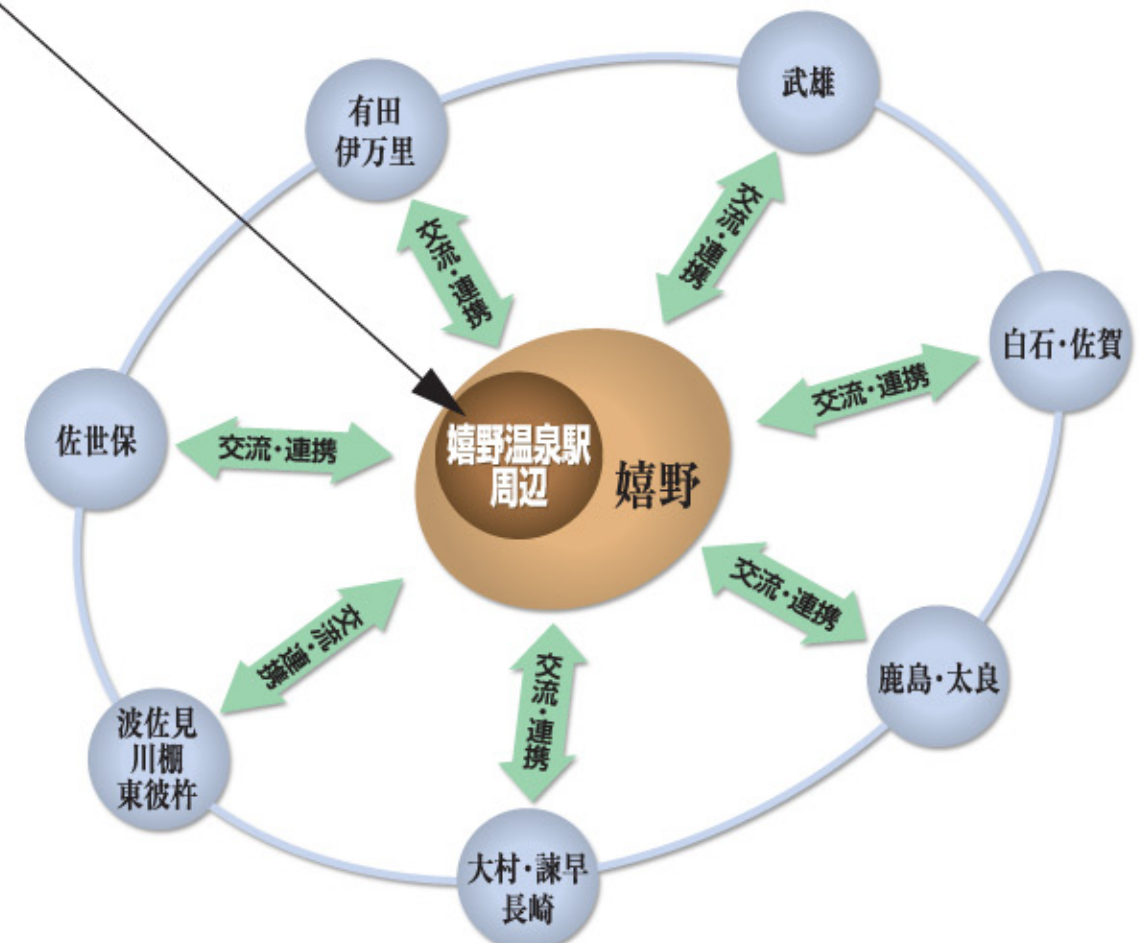
嬉野温泉駅予定地位置図



広域的な役割・位置づけ

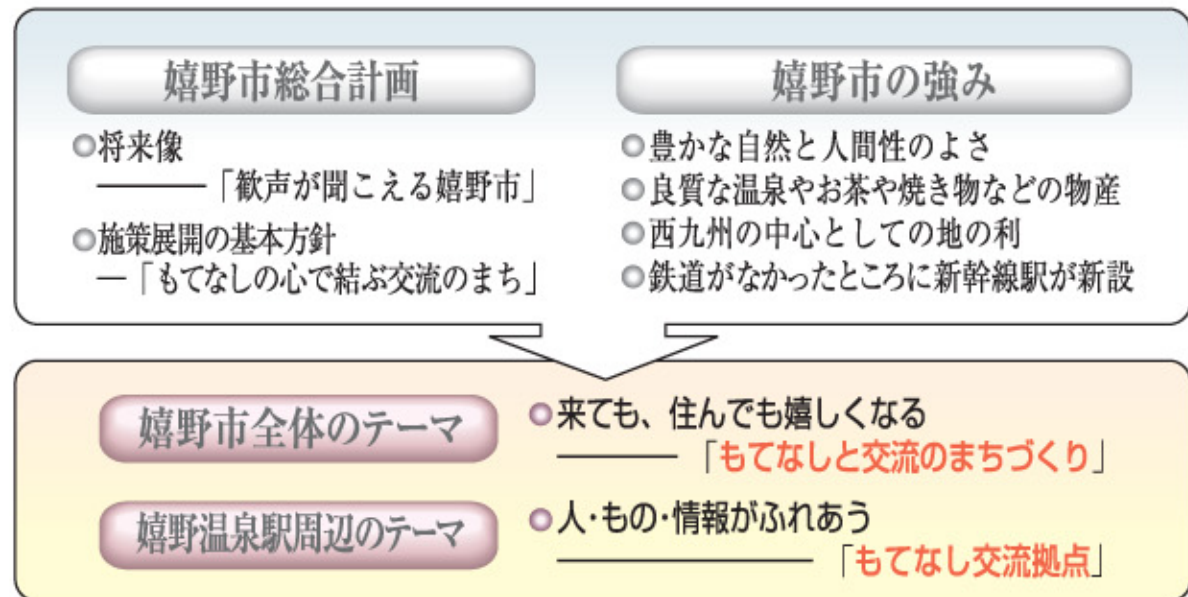
上位・関連計画や広域的にみた立地環境などをもとに、嬉野温泉駅周辺地区の広域的な役割や位置づけを次のように整理します。

- 佐賀県南部地域及び長崎県北部地域と連携した広域的玄関口**
 九州新幹線や高速道路等の広域交通ネットワークと幹線道路やバス路線等の地域交通網の結節点として、佐賀県南部地域及び長崎県北部地域の連携を強化するための広域的な玄関口として機能する地区。
- 広域観光交流拠点**
 佐賀県南部地域及び長崎県北部地域の情報発信拠点としての機能を担うとともに、嬉野市街地や塩田地区市街地の観光・宿泊機能との連携を図り、広域的な観光交流拠点として機能する地区。
- 地域生活交流拠点**
 嬉野市街地及び塩田地区市街地の商業機能、交流機能、アメニティ機能を補完するとともに、新たなコミュニティを創造する地域生活交流拠点として機能する地区。



新幹線を活かしたまちづくりの基本的な考え方

新幹線のまちづくりの基本的な考え方は、「嬉野市総合計画」や「嬉野市新幹線を活かしたまちづくり協議会」で検討した内容等をもとに、次のように設定します。



駅周辺のまちづくりの基本的な方針

- ### 西九州地域の新たな玄関口の形成

西九州地域とのアクセス性を向上する交通結節機能の強化とともに、西九州地域の自然・文化・歴史・産業をアピールするシンボル性の高い景観づくりを推進する。
- ### 生活文化を醸成・創造する交流空間づくり

来訪者だけでなく、地域生活者も集いなくなる地域の観光・物産・文化・交通情報サービスを提供できる交流空間を形成する。
- ### 市街地との役割分担・連携

駅周辺と市街地や温泉街との役割・機能分担の明確化を図るとともに、市街地・温泉街と駅をつなぐ道路・公共交通ネットワークの強化を図る。
- ### ユニバーサルデザインによるまちづくり

高齢者、障がい者、子育て世代、来訪者をはじめとしたすべての人にやさしいユニバーサルデザインの導入を図る。
- ### 市民・事業者・行政による協働のまちづくり

まちづくりにあたっては、市民や事業者の意見を踏まえるとともに、適切な役割分担による官民協働のまちづくりを推進する。

駅周辺に必要な機能

新幹線を活かしたまちづくりの基本的な考え方にもとづき、駅周辺に導入する機能(案)を次のように設定します。



- ### 交通結節機能

 - 国道、県道から駅へのアクセス性を高める機能
 - 新幹線と各交通手段への乗り継ぎ機能 (バス、観光バス、タクシー、レンタカー、自家用車、バイク、自転車)
- ### 情報機能

 - 観光客への観光・物産・交通・目的地情報の発信と観光客ニーズを受信する機能
 - 市民や近隣市町住民との地域情報受発信機能
- ### 地域振興機能

 - 地域の特産品などを販売・PRする機能
 - 地域情報など通じて市街地へ人を導き、地域内での消費を促す機能
- ### 交流・連携機能

 - 広域交通結節拠点にふさわしい広域交流活動の場としての機能
- ### 癒し・休憩機能

 - 旅の疲れを癒すとともに、新幹線待合のひとときをくつろいで過ごせる機能
 - 市民や近隣市町住民の憩い空間としての機能
- ### 居住機能

 - 新幹線駅に歩いて行ける通勤・通学に便利な居住機能
 - 自然と共生する緑豊かな居住機能

